

General Incorporated Foundation REIMEIKYO Hirosaki Stroke and Rehabilitation Center



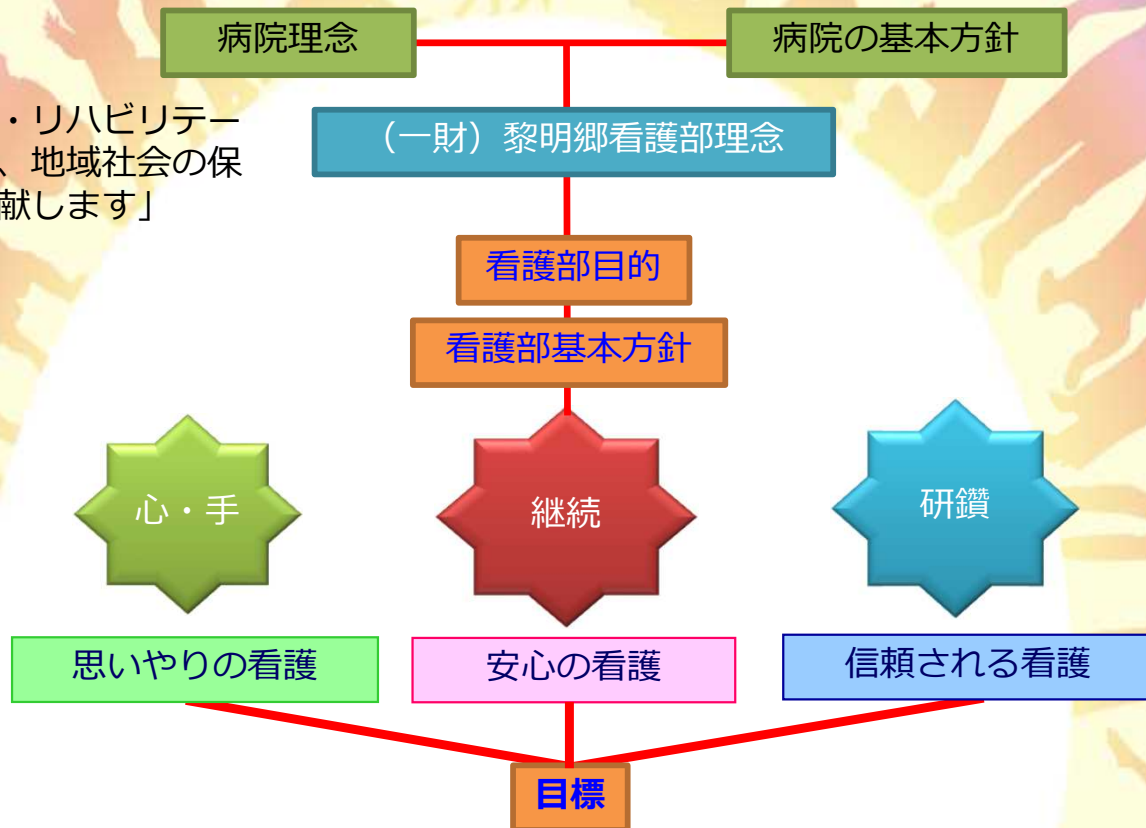
一般財団法人 黎明郷

弘前脳卒中・リハビリテーションセンター

看護部紹介

看護部について

「質の高い医療・リハビリテーションを実践し、地域社会の保健医療福祉に貢献します」



私たち一般財団法人黎明郷看護部は、病院の理念を念頭におき、病院の使命と機能を十分に果たすため看護部理念を掲げています。そして理念の基、看護部目的達成に向け、目標を定め取り組んでいます。

看護部基本方針は3つあり「思いやりの看護」「安心の看護」「信頼される看護」を柱としています。「思いやりのある看護」とは、患者さんの個々の思いや考え、多種多様な不安や悩みを、いち早く気付き自分の事のようにその思いを受け止め、専門職としての知識・技術を駆使して心のこもった温かい看護を「心と手」で実践することと考えています。そして、自分たちの「感じる心」を大切に育てることが当センターの看護部理念につながっています。「安心の看護」とは、看護職として専門的な知識・技術を身につけ一人ひとりが人間性を深めて質の高い「安心の看護サービス」が提供できるように、看護部ではキャリア開発ラダーシステムを導入し継続教育を行っています。「信頼される看護」とは、教育プログラムに沿って知識や技術を磨き、専門職業人としての役割を果たすとともに地域住民から信頼される質の高い看護を提供することであり、そのために職員一人ひとりが「研鑽」しスキルアップに努めています。

看護部長あいさつ

「思いやり看護」・「安心の看護」・「信頼される看護」の提供をめざして

看護部長 樋口 三枝子

当センターは、急性期病棟として1・2病棟79床、回復期リハビリテーション病棟として3・4・5病棟の169床の248床からなり、脳卒中救急とリハビリテーションを主体とする病院です。

地域の中核病院であり、地域の皆様からの期待に応えるために、看護部の理念である「患者・家族の立場に立った思いやりのある看護」をめざし、患者様一人ひとりに真摯に向き合い、手のぬくもりを大切にした看護を提供しています。

脳卒中発症直後から自宅退院するまで、当センターの特性を生かし医師・看護師・理学療法士（PT）・作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）・社会福祉士・薬剤師・管理栄養士・歯科衛生士・看護助手等の各職種がチームとなり、急性期病棟から回復期病棟へ継ぎ目のない医療・介護サービスの提供を行なっています。様々な専門職が連携し合い、患者さんのQOL（生活の質）を上げるために、それぞれの専門性を十分に発揮しチームワークを大切にして患者様の在宅復帰を支援しています。また、地域医療を守る病院として患者様に満足していただけるよう、人材育成に力を入れた院内研修体制および院外研修・資格取得等の支援をして、看護師一人ひとりの成長をバックアップしています。看護職員一人ひとりが将来の目標とやりがい、自信と誇りをもって働ける環境づくりにも力を入れています。働きやすい職場環境としてフレキシブルな勤務体制や院内保育施設を設置し、ワーク・ライフ・バランスの充実に取り組んでいます。



副看護部長あいさつ

教育担当 中田智子

看護教育においては、新人看護職員に対しての集合研修やプリセプターシップが充実しており、プリセプターだけでなく部署全体で新人をサポートする体制が整っています。院内には脳卒中認定看護師・回復期リハビリテーション認定看護師の資格を持ち活動している看護師もおります。副看護部長(教育担当)として、「脳卒中看護」「リハビリテーション看護」のキーワードを意識し院内の看護の質向上に向けて教育システムを構築します。看護実践能力及び看護職としての専門性が発揮できるキャリア支援はもちろん、人材育成を目指した教育活動の支援を行っていきたいと思います。



業務担当 横濱 岳

看護の質の向上のためチーム医療が円滑に行われるよう、組織横断的に多職種と協働しながら業務改善や業務管理を行っています。そして、見える質の管理を行い業務の標準化を推進しています。また、重症度、医療・看護必要度の院内教育や監査、看護記録の監査を通し、質の担保に努めています。療養・職場環境を整え、一人ひとりの個性や本来もっている力が十分発揮でき働き続けられる環境作りを行い、当センターの看護部理念である「患者・家族の立場に立った思いやりのある看護の提供」を実践できるよう、スタッフの支援をしていきたいと思います。



総務担当 佐藤 奈奈

総務は、看護職員の人事・職員計画・健康管理・労務管理・物品管理看護師の経営参画など看護職員が働きやすいように支援していくことが主な役割活動です。「思いやり看護」・「安心の看護」・「信頼される看護」を提供するために、必要な看護職員を適正配置し働きやすい職場環境を整えています。看護職員一人ひとりが将来の目標とやりがい、自信と誇りをもって働ける環境づくりのためにも、ワーク・ライフ・バランスを考えながら職員の働きやすい環境を作ることを中心に看護師と看護補助者の方々の支援を行っていきたいと思います。



医療安全推進室看護師長 千葉 順子

当センター看護部基本方針の1つに「安心の看護」が掲げられています。医療安全を推進するうえで、24時間・365日患者様に寄り添い、看護を提供している看護師は重要な役割を担っています。医療安全は組織的な取り組みと共に、看護職一人一人の看護行為が安全な医療に繋がるため、日々の業務遂行にあたっては、リスク回避のKYT、マニュアルを遵守するよう指導・管理を行っています。患者様・ご家族の立場に立ち、多職種によるチームで協働して安心・安全な医療を提供できるよう努めていきたいと思っております。



感染対策室看護師長 佐藤 奈奈

感染対策室は、当院の理念である『質の高い医療・リハビリテーションを実践し、地域社会の保健医療福祉に貢献する』ためにも、患者さんはもちろんこと患者家族、病院職員、病院に出入りする全ての人を、医療関連感染から守るために、日々活動しています。室員は、感染制御のために必要な知識を備えた、感染制御医師（ICD）・看護師（専従・専任）・感染制御認定薬剤師・臨床検査技師・事務員がチームとなり組織横断的に活動しています。「標準予防策」を基本とした院内感染対策を遵守し、安全で質の高い医療サービスの提供に努めていきます。



医療器材管理室看護師長 中田 智子

医療器材管理室では、適切な医療材料の提供と安全・感染管理、看護業務へ貢献するということを目標に掲げ、院内における感染予防・医療器材の物流管理・器材による医療事故防止の視点から、安全で良質な医療器材が提供できるように努めています。定期的に医療機器の点検を行うことと、スタッフへの情報提供を行うことで、患者様が安心して入院生活を送れるよう、安心・安全な看護が提供できるよう努めていきたいと思っております。



看護部理念

私たちは、患者・家族の立場に立った思いやりのある看護を提供し、誰からも愛される病院を目指します。

看護部目的

社会環境の変化に対応できる英知を養い、リハビリテーション看護の専門的知識と創造性をもって心のこもった看護を実践します。

看護部基本方針

1. 患者に寄り添い、ぬくもりのある看護を提供する
2. 信頼される看護を提供し、責務を遂行する
3. チーム医療に貢献し、看護の役割を明確に発揮する

2023年度看護部目標

目標1 安全で質の高い看護を提供する

- 1) 安全・安楽を基本にした患者の療養環境を整える
- 2) 医療安全管理体制の充実を図る
 - (1) 転倒転落件数を減少する (前年度比90%以下)
 - (2) 薬剤関連インシデントを減少する (前年度比90%以下)
 - (3) 身体拘束解除に向けた多職種カンファレンスを行い身体拘束率を減少する (前年度比90%以下)
 - (4) インシデントKYTを実施する (年6回以上)
- 3) 病院機能評価受審へむけた取り組みの強化
 - (1) マニュアルの整備と記録の充実を図る (監査体制の整備・記録の効率化・看護過程の充実)
- 4) 認知症患者の理解を深め適切な看護計画を立案・実践・評価する
- 5) 倫理的感性を養い、現場で直面する倫理的課題を検討する
- 6) 感染予防対策の徹底・強化を推進する
- 7) 健康管理チェックを実施し自己管理を徹底する

目標2 看護の可視化するため、看護ケアを測定し評価する

- 1) 看護の質評価指標に沿って測定した結果をデータ管理し、看護実践及び管理に活用する

目標3 組織の一員として、変革する病院経営に参画する

- 1) 施設基準における重症度、医療・看護必要度を維持する
- 2) 病院機能評価受審の準備と対応に努める
- 3) 明るく丁寧な接遇を心がけ、居心地の良い療養環境を提供する
- 4) 地域に求められる病院組織を目標に、皆が変革に参画し達成感を共有する
- 5) 診療報酬に関連する研修資格取得者の育成を計画的に行う

目標4 接遇意識を高め患者・家族、職員間のコミュニケーションを活性化する

- 1) 一般財団法人 黎明郷の看護職員として、ふさわしい身だしなみや態度を育成する
- 2) 看護職員の接遇により患者の満足度が向上する
- 3) 院内において、自ら挨拶をする習慣を推進する

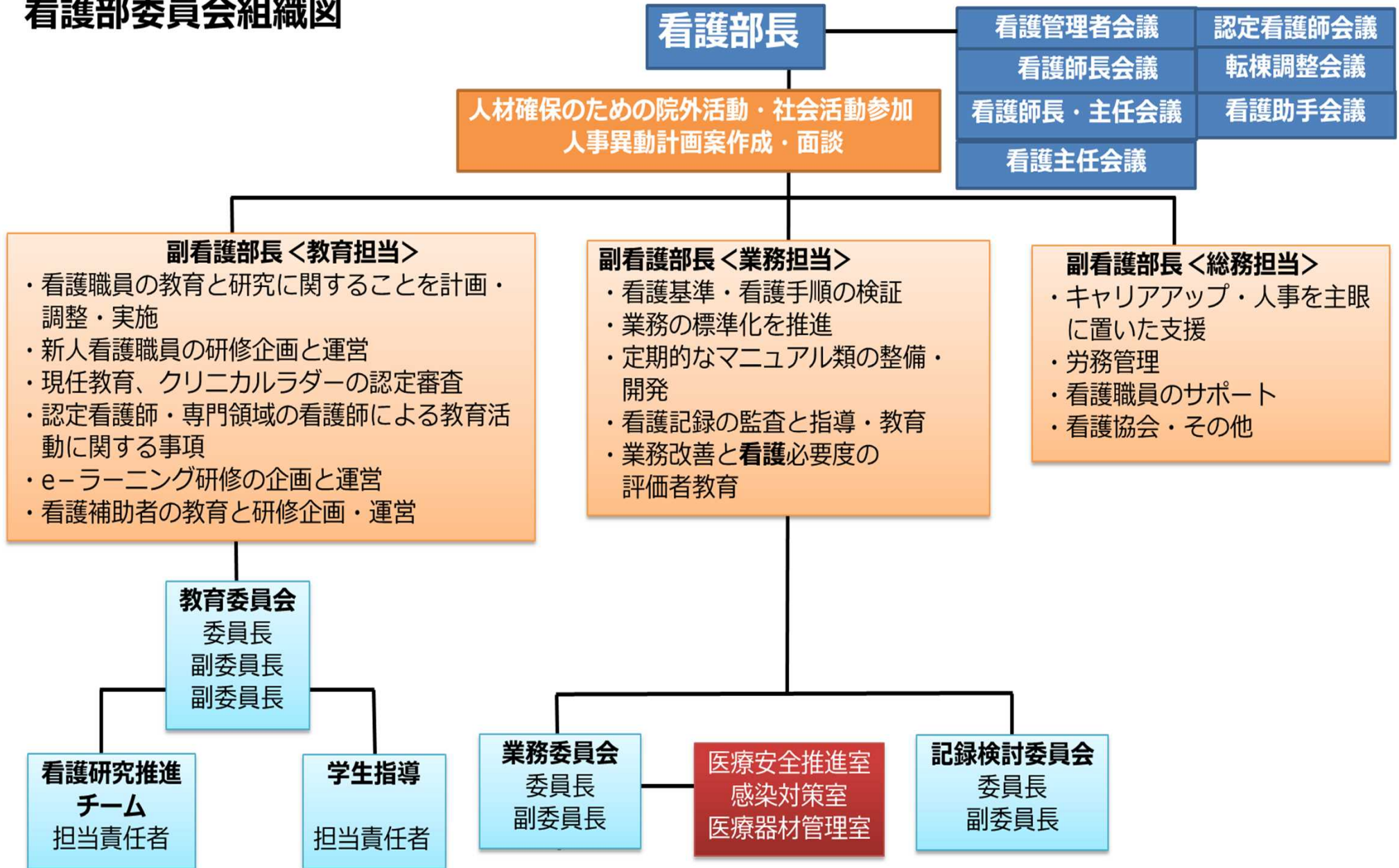
目標5 業務改善と活気ある職場、元気の出る職場づくりを行う

- 1) 働き方改革とワーク・ライフ・バランスを意識した業務遂行に取り組む
 - (1) 適正な時間外勤務管理
 - (2) 年間を通じて計画的な年次休暇の取得に努める(5日以上)
- 2) 精神的ストレス、ハラスメントへの取組を意識した職場環境づくりに取り組む
- 3) 業務改善に取り組む(1例以上)
- 4) 看護チームの一員である看護助手との協働を図る

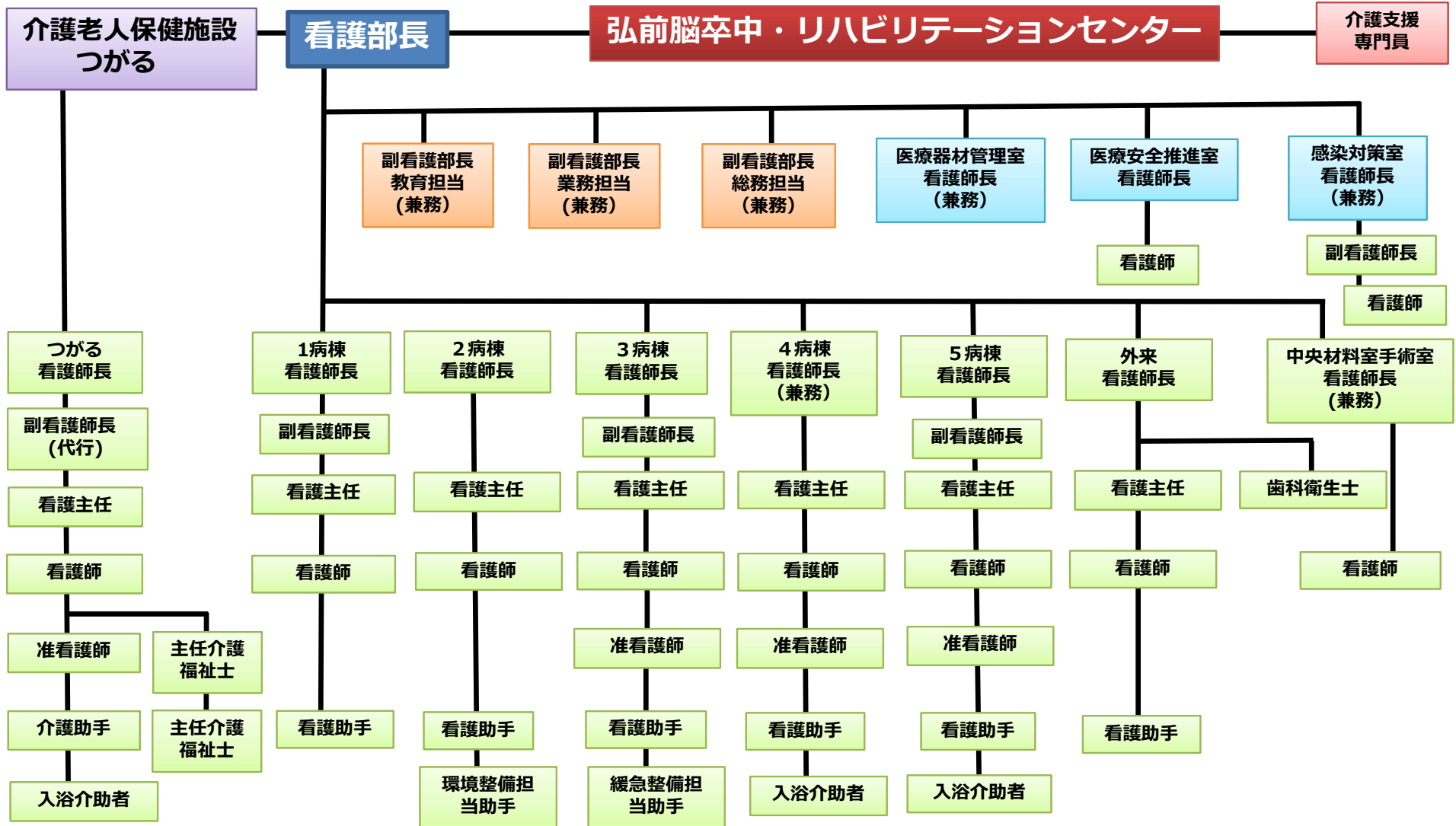
目標6 より良い看護を担う人材育成と自己啓発・研鑽を推進する

- 1) 看護管理者の管理実践能力の向上を図る
 - (1) マネジメントラダーを活用し、看護管理者を育成する
- 2) 自律性主体性を伸ばす関りを通してOJTを推進する
- 3) 院内・院外の研修・看護研究など教育活動を推進する
- 4) 中堅職員の人材活用を積極的に図り、活動の支援・援助を行う

看護部委員会組織図



一般財団法人黎明郷 看護部組織図



看護方式・勤務体制

看護職員配置基準	一般病棟 7 : 1 回復期病棟 13 : 1
看護方式	機能別看護方式 チームナーシング プライマリーナーシング パートナーシップ (回復期病棟)
勤務体制	2交代制 日勤 8 : 30 ~ 17 : 15 夜勤 16 : 30 ~ 9 : 30
看護職員	看護師・准看護師 181名 看護助手 43名 歯科衛生士 2名

令和5年1月1日現在



2022年6月1日現在

看護部教育目的

1. 自己啓発に努め、やりがいや喜びを感じ意欲的に業務に取り組めるよう支援する。
2. 質の高い医療を確保するため専門的な知識と技術を習得し、看護の質向上を図る。

自己学習

院内・外研修会参加
看護研究

身だしなみ

挨拶

笑顔



看護部教育目標

1. 自ら学び成長し続ける看護師を育成する
2. 課題に創造的に解決する意志をもつ看護師を育成する

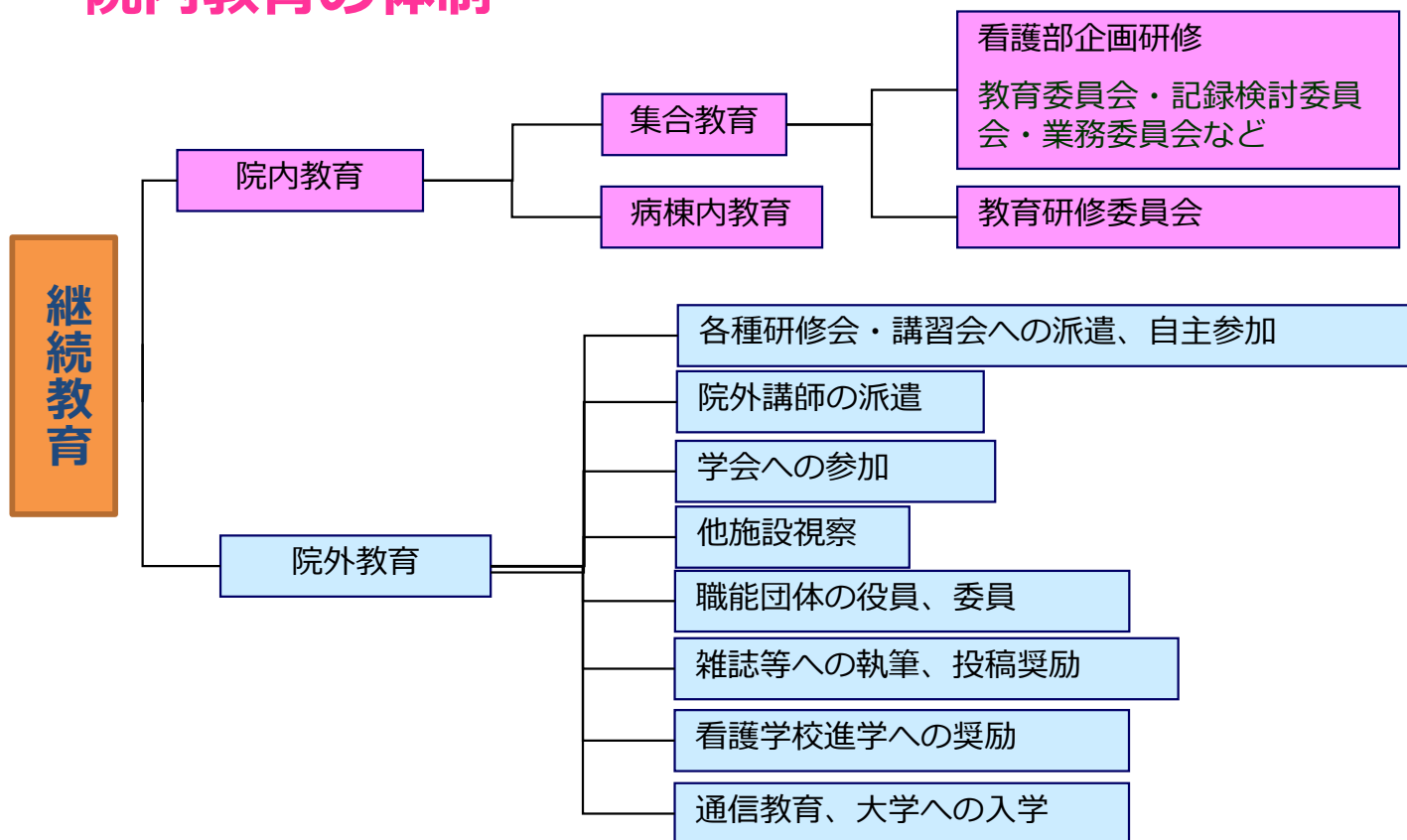
看護部教育体制

職位	専門職 ジェネラリスト		高度専門職 スペシャリスト		管理職 マネジメント	
	ラダーレベル	研修	認定看護師	専門看護師	ラダーレベル	研修
部長					マネジメントラダーレベルV 病院全体の管理・運営に参画するとともに地域まで視野を広げたじた看護管理ができる	認定看護管理者教育課程 ・サードレベル
副部長					マネジメントラダーレベルIV トップマネジメントを担う一員として看護管理を実践できる	認定看護管理者教育課程 ・サードレベル
看護師長					マネジメントラダーレベルIII 部署の看護管理を実践できる	認定看護管理者教育課程 ・セカンドレベル
副看護師長					マネジメントラダーレベルII 必要時に支援を受け部署の看護管理を実践できる	認定看護管理者教育課程 ・ファーストレベル ・看護学生実習指導者講習会
主任	クリニカルラダーレベルIV 看護の専門性を追求するとともに、所属の目標達成に貢献する	レベルIV研修	※診療報酬の入院基本料・入院基本料等加算において施設基準に該当する専従者も高度専門職とみなす。		マネジメントラダーレベル1 支援を受けながら看護管理を実践できる	
一般	クリニカルラダーレベルIII 看護実践モデルとしてリーダーシップを発揮し、後輩を育成できる	レベルIII研修				
	クリニカルラダーレベルII 自律的に日常看護を実践し、チームメンバーの役割を果たすことができる	レベルII研修				
	クリニカルラダーレベルI 部分的な指導を受けながら、日常看護が実践できる	レベルI研修				

スキルアップ関連資格

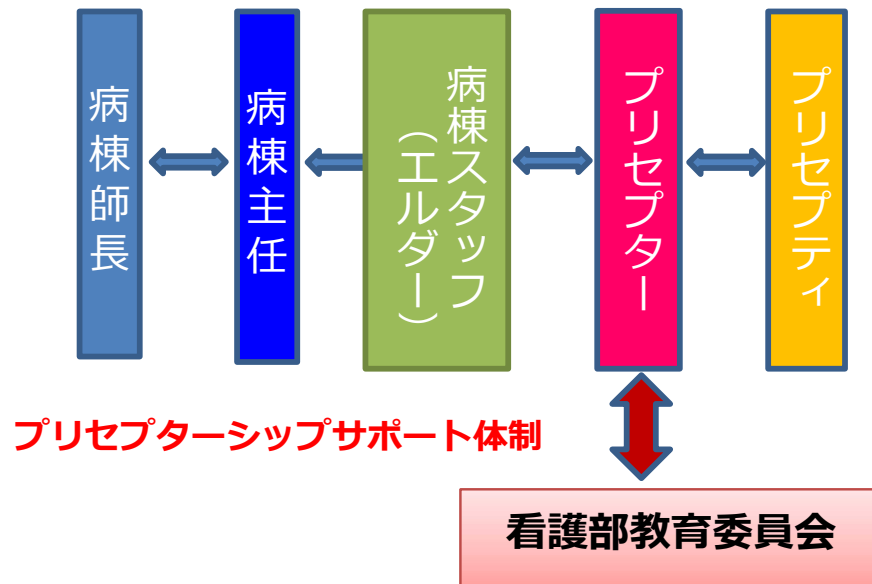
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	2名	日本糖尿病療養指導士 (CDE-J)	1名
回復期リハビリテーション看護師	2名	地域糖尿病療養指導士 (L-CDE)	6名
ISLS (脳卒中初期診療コース)	45名	栄養サポートチーム専門療法士 (NST)	4名
認知症ケア専門士	1名	3学会合同呼吸療法認定士	2名
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	4名		
介護福祉士 (ケアワーカー)	10名		

院内教育の体制



継続教育体制は教育委員会が中心となって行っています。院内教育の企画・運営・評価に対する責任を持ち、院内外教育を実施しています。また、学研e-ラーニングを導入しており、いつでもどこでもインターネットを使っでの学習が可能です。当センターでは、幅広い視野を得る機会として研究活動や学会参加を奨励しています。看護師一人一人のキャリアアップのための財団の学習支援制度があります。

新人教育支援体制



新人教育はプリセプターシップを採用し、新人看護職員（プリセプティ）が仕事と職場にスムーズに馴染めるように、技術的な指導とメンタル面のサポートを行っています。1年を通して若手の先輩がプリセプターを担当し、深刻なリアリティショックを体験することなく、看護が実践できるように支えます。看護部（教育委員会）では、さらにプリセプターの相談役としてベテラン看護職員（エルダー）を配置し、共にプリセプティへの指導が適切に行われるようにバックアップしています。

新人教育

4月	新人看護職員教育研修
5～6月	3ヶ月目研修・輸液管理
7月	急変時対応研修・院内留学研修
8月	リフレッシュ研修
9月	6ヶ月研修
11月	医療安全・感染対策研修
12月	10ヶ月目研修
1月	呼吸療法研修
2月	生活再構築・社会資源について

4月の新人看護職員研修のねらいは、「社会人、組織人としての自覚が持てる。基本的な知識・技術・態度を習得し、看護実践ができる」にしています。新人看護技術チェックリストを使用し、評価チェックリストを丁寧に見直すことで、自らの気づきから着実にステップアップできるようにしています。

現任教育

月	ラダーレベル	研修名
4月	全レベル	FIM(機能的自立度評価法)研修 (理学療法士PT・作業療法士OT・言語聴覚士STと合同)
5月	Ⅱ～Ⅳ	技術研修(留置カテーテル交換・吸引)
6月	Ⅱ～Ⅳ	脳卒中リハビリテーション研修
9月	Ⅱ～Ⅳ	急変時研修
10月	Ⅱ～Ⅳ	プリセプターフォローアップ研修
2月	全レベル	委員会報告
3月	Ⅱ～Ⅳ	新プリセプター研修

現任教育は、個人・組織の目標管理と連動しそれぞれが成長できるよう集合教育と現場教育を組合せ支援しています。
新卒から段階的にステップアップし、無理なくキャリアアップができる継続的なプログラムです。スペシャリストを目指したい方にも夢が叶えられるような道も開けています。

看護補助者教育



看護補助者として必要な知識や技術を持ち
1.患者様に安全なサービスが提供できる。2.看護補助者としての接遇に留意して業務が遂行できる。3.脳卒中リハビリテーションの専門病院の看護補助者として役割を果たすことができる。を目標にし、各業務をおこなっていくうえで実践や安全・研修などのテーマ別勉強会のプログラムを組んでいます。

5月	組織の一員として
6月	デイケア研修
7月	急変時研修
8月	回復期リハビリテーション(疑似体験)
9月	安全研修(身体抑制)
10月	感染研修
2月 3月	おむつ見直し研修 評価と次年度目標



令和2023年度 新人集合研修会予定表



看護技術研修



採血・点滴・感染予防対策など各部署で実務に入る前に看護技術を実践形式の研修でサポートしています。
物品の使用方法や目的・根拠を理解した上で実務に入ることができるため、新卒・既卒からも好評です！

卒後10ヶ月目研修



部長賞

心に残っているエピソードをケースレポート形式で発表します。情報共有と看護の振り返りができます。

開催月	研修会名
4月	新人教育研修
5月	卒後2か月目研修 ①FIM ②看護記録
6月	卒後3ヶ月目研修 ①NIHSS ※チェックリスト評価
7月	急変時対応研修
8月	①脳卒中治療薬 ②脳の解剖
9月	卒後6ヶ月目研修 ①脳卒中について(危険因子等) ※チェックリスト評価
10月	呼吸療法・体位ドレナージ
11月	グリーフケア(死後処置)
12月	卒後10ヶ月目研修 ケースレポート
1月	

呼吸療法・体位ドレナージ



理学療法士(呼吸療法認定士)の協力を得て、体位ドレナージや呼吸音聴取を互いに実施し体験します。人工呼吸器の基本操作やアラームについても研修します。

急変時対応研修



3人1組のグループとなり、急変時対応について実技研修をします。急変時対応の評価をみて夜勤導入を検討しています。

集合研修だけではなく、チェックリストを使用し1年間サポートします！



弘前脳卒中・リハビリテーションセンター



病床数：248床

回復期リハビリテーション病棟 169床

F4

★ 4 病棟（回復期） 54床

★ 5 病棟（回復期） 60床

★ 3 病棟（回復期） 55床

F3

1 病棟 37床

2 病棟 42床

F2

Stroke Care Unit 6床
High Care Unit 2床
特室 1床 個室8床 4床室5室

High Care Unit 4床
個室15床 4床室6室

外来

F1

放射線室 検査室 歯科 リハビリテーション室

部署紹介

➤ 急性期病棟：1病棟 病床数37床

脳卒中急性期治療を担う1病棟は、脳卒中ケアユニット(SCU)に準じた6床を含めた37床を有しています。突然の発症で不安や強いストレスを感じている患者様・ご家族に寄り添い、脳卒中治療チームで不安の軽減、病状の重篤化回避と早期回復が成されるよう、スタッフ一丸となり頑張っています。また、専門性を高めるための職場環境作りを行っており、患者様が安心して急性期治療・リハビリテーションを受けられるように目下努力しております。



➤ 急性期病棟：2病棟 病床数42床

脳卒中治療後リハビリテーション目的の患者様、心臓リハビリテーションの患者様、脳卒中により内科治療管理を要する患者様を受け入れ、専門スタッフが医療及び看護、リハビリテーションを組織的、計画的に行い、生活の質を改善できるよう回復期病棟へ繋げています。脳卒中は命と生活を脅かす病気ですので再発予防のために脳血管造影検査、脳血管内治療の患者様も受け入れていますので、たくさんの役割がある中、職員一人一人が目標を持ち、専門性を高め病棟の活性化を図っております。



部署紹介

➤ 回復期病棟：3病棟 病床数55床

急性期病棟では、重篤化回避のケアやADL向上に向けた早期リハビリテーションの実践を行いますが、回復期リハビリテーション病棟では、脳卒中等の症状(麻痺や失語症など)を最小限にし、社会復帰に向けて多職種でチーム医療を展開しています。私たちの活動が患者の回復につながるというところにやりがいを感じています。

興味のある方は一緒に青森県の脳卒中再発予防に関わっていきましょう。



➤ 回復期病棟：4病棟 病床数54床

回復期病棟の役割は多職種で共同しながらADL向上、寝たきり予防、在宅・社会復帰を目的とし患者様の支援を行っています。当院には3つの回復病棟がありますが、4病棟は「安心・安全な看護と療養環境を提供する」ことを看護目標に掲げ、スタッフ一丸となって取り組んでいます。

看護師は患者様に24時間寄り添う一番身近な存在です。患者様の健康管理、自立に向けた援助、QOL向上を目指して一日も早く笑顔で退院の日を迎えることができますようスタッフ一同関わっています。



部署紹介

➤ 回復期病棟：5病棟 病床数60床

5病棟は回復期病棟3病棟ある中で、唯一多床室病棟です。入院が長期間となる中で、患者様同士・看護スタッフ・リハビリスタッフとコミュニケーションが弾み、入院生活を送ることで、自然と笑顔がこぼれ、時には大きな笑い声も聞かれています、明るい病棟です。患者様が「安心・安全・安楽な入院生活を送れるような看護を提供する」を目標にスタッフが誠意を持って援助していけるように取り組んでいます。



➤ 外 来

当院外来は365日24時間救急対応しています。脳卒中治療は時間との勝負のため、救急担当看護師が症状確認後トリアージを行い医師の診察へ繋げ血栓溶解療法や血栓回収療法など早期治療を開始できるよう努めています。突然起こる症状は脳卒中の可能性ががあります。手足の麻痺がなくても「あれ？いつもと違う」と心配な時はまずは外来にお問い合わせください。看護師がお話を聞き対応させていただきます。



部署紹介

➤ 中央材料室・手術室

医療物品の請求・納品・払い出し等の管理業務、病棟で使用する物品、いろいろな処置、検査、手術に使用した医療器材の洗浄から消毒、滅菌に至る業務を一括して行っています。院内感染防止の役割も担っています。他部署の方からは目の届かない部署ですが、使用する物品を確実に、安全に供給するという、大変重要な役割を果たしています。



➤ 感染対策室

病院内の感染防止対策を推進しています。感染症の早期発見と治療に努め、方針を明らかにし職員の教育を実践しています。病院感染に関する問題を迅速に解決できるように、感染対策室が中心になって進めています。患者さんを実際に看ることは少ないですが、病院を縁の下から支える役割を担っています。



➤ 医療安全推進室

医療従事者一人ひとりが患者安全を第一に考え、病院の理念に基づき質の高い医療を提供する目的で多職種と情報共有し連携しています。「人は誰でも間違える、しかし間違いを防ぐ事は出来る」という事を前提に、安全に配慮し快適な入院環境作りのため活動と医療安全推進室として心理的安全性を意識した取り組みの構築を図っています。



認定看護師について

認定看護師とは、特定の看護分野において、看護ケアの広がりや質の向上を図ることを目的に、日本看護協会が実施している認定看護師認定審査に合格した、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。当センターでは、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師・感染管理認定看護師や 回復期リハビリテーション看護師（回復期リハビリテーション病棟協会認定）などの認定看護師取得を応援する制度があります。

認定看護師紹介

➤ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

1病棟 看護師長 工藤 晃

2014年に脳卒中リハビリテーション看護認定看護師（SCN）資格を取得しました。脳卒中急性期において求められる病棟の重篤化予防ケアや生活再構築のための支援、活動性維持・促進、ADL拡大のためのリハビリテーション看護を提供し、地域・社会復帰および回復期病棟へスムーズに移行できるよう入院時より関わっていきます。また、脳梗塞急性期における脳血管内治療を受ける患者様・家族様が安心して治療を受けられるようサポート致します。



➤ 脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

3病棟 看護師長 齋藤 輝之

リハビリテーション病棟における脳卒中リハビリテーション看護認定看護師の役割としては、転入時から患者様の退院後の思いを尊重し、その思いに近づけられるよう他職種と共に退院に向けた生活再構築のプロセス管理とセルフケア能力向上の支援、家族も含めた再発予防に対する支援を計画しています。また、看護職者に対しては、院内・院外を通し脳卒中リハビリテーション看護の役割モデルとして指導・相談を行っています。



➤ 回復期リハビリテーション看護師（回復期リハビリテーション病棟協会認定）

5病棟 看護師長 大川 麻美

2015年に回復期リハビリテーション看護師認定資格を取得し、2020年に更新しました。患者様の身近な存在である看護師が、患者様の声(心の声)に耳を傾け、精神的サポートにより効果的なリハビリが続けられるよう、チームでアプローチしています。また、リハビリ看護のやりがいや楽しさを伝え、リハビリ室で獲得した能力が、生活場面で生かせ、そして、安全な療養環境が設定できるよう病棟内ラウンド・KYTを行い、スタッフへ教育・指導にも取り組んでいます。患者様がここの病院でリハビリができてよかったと思えるよう努力していきます。



看護部自治会

目的：

会員の自治によって相互の親睦を図り、円滑に業務を遂行する。

主な事業

- ☆ 4月：新人歓迎会
- ☆ 10月：リフレッシュ会
- ☆ 2月：総会

構成メンバー：

自治会長	(1)	
副会長	(2)	
書記	(1)	
会計	(1)	
監事	(2)	顧問 (1)

Welcome

